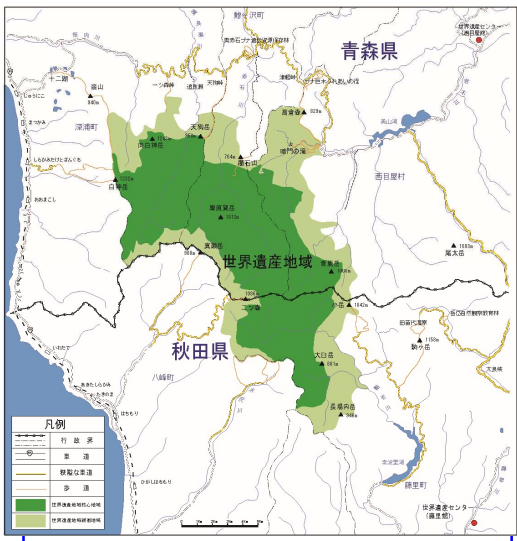
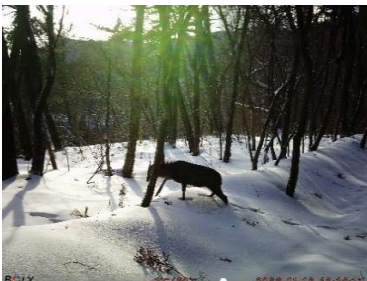


ID ^{注1)}	221205	公開レベル ^{注1)}		保管形式 ^{注1)}		保管場所 ^{注1)}		前回ID	211210
-------------------	--------	----------------------	--	---------------------	--	---------------------	--	------	--------

報告書名称 /調査名称	令和3年度 白神山地周辺地域（青森県側）における冬期ニホンジカ分布調査				発行年月/報告年月	
					2022年	4月
					資料形式 ^{注2)}	報告書
調査機関	東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター		委託機関			
調査開始年	2021年	11月	調査期間	2021年	11月	～ 2022年 3月
調査頻度 ^{注2)}	毎年	—	調査時期 ^{注2)}	秋 冬		
モニタリング計画	2017年3月 改訂	区分 ^{注2)}	ⅡB	大区分 ^{注2)}	2	小区分 ^{注2)} (3)
調査箇所・範囲 ^{注3)}				調査手法		
☐ 核心地域 ☐ 緩衝地域 ☒ 周辺地域 ☒ GPS等の位置データあり				<p>■目的 白神山地世界遺産地域モニタリング計画の重点調査項目に挙げられているニホンジカの生息域を把握するため、白神山地周辺の越冬場所と考えられる低標高地域において、晩秋から早春にかけて赤外線センサーカメラによる調査を実施した。</p> <p>■センサーカメラ設置箇所 白神山地周辺地域の西側に位置する深浦町の国有林内に、各箇所1台ずつ合計18台を設置した（図1）。令和3年11月25日に調査を終了した「令和3年度 白神山地周辺地域（青森県側）における中・大型哺乳類調査」の調査地点1～12、14、19、31及び32のカメラを、ニホンジカ調査用に冬期間も継続して設置し、更に過去にニホンジカのものと思われる痕跡が発見された地点に、追加で2台設置した。</p> <p>■調査期間 令和3年11月25日～令和4年4月26日</p> <p>■使用機器 ・TREL10J（（株）GI Supply）：12台（図1：地点1、3～11、14、19） ・TREL10J-D（（株）GI Supply）：4台（図1：地点2、12、31、32） ・TREL18J-D（（株）GI Supply）：2台（図1：地点33、34） </p> <p>■集計方法 撮影されたニホンジカの性別及び個体数を記録したほか、その他に撮影された哺乳類・鳥類についても調査地点ごとにカウントして集計した。</p>		
 <p>※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。</p>						
結果概要（スペースに収まるように入力してください）						
<p>調査期間中、ニホンジカは2箇所から計3個体撮影され、性別はオス2個体とメス1個体であった。ニホンジカ同様に分布拡大が懸念される種として、ハクビシンが調査地12から1個体撮影され、また、同じく分布の北上傾向が見られるイノシシが、調査地5箇所から各1個体の計5個体撮影された。</p> <p>ニホンジカも含め撮影された全ての動物の個体数を集計したところ、全調査地点で合計498個体、そのうち哺乳類は484個体であった（表1）。最も個体数が多かった種はタヌキの112個体で、次いでキツネ93個体、ニホンザル81個体、テン54個体、カモシカ45個体と続いた。正確な種まで同定できた確認種数は哺乳類12種、鳥類は2種であった。</p> <p>撮影個体数が特に多かった調査地点としては、2：167個体、1：42個体、31：37個体などが挙げられる。種数について見ると、地点2、12、32の8種が最大で、次いで地点7、31の7種、3、5、8の6種という結果となった。</p>						
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div>  <p>ニホンジカ♂（調査地32：12月14日）</p> </div> <div>  <p>ニホンジカ♀（調査地32：1月6日）</p> </div> <div>  <p>ニホンジカ♂（調査地33：1月18日）</p> </div> </div>						
問い合わせ	東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82 TEL：0173-72-2931 FAX：0173-72-2932 ※「原本（データ）の帰属について」					

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。

注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。

注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考

図1 令和3年度 冬期ニホンジカ分布調査 センサーカメラ設置箇所
○：ニホンジカ撮影箇所

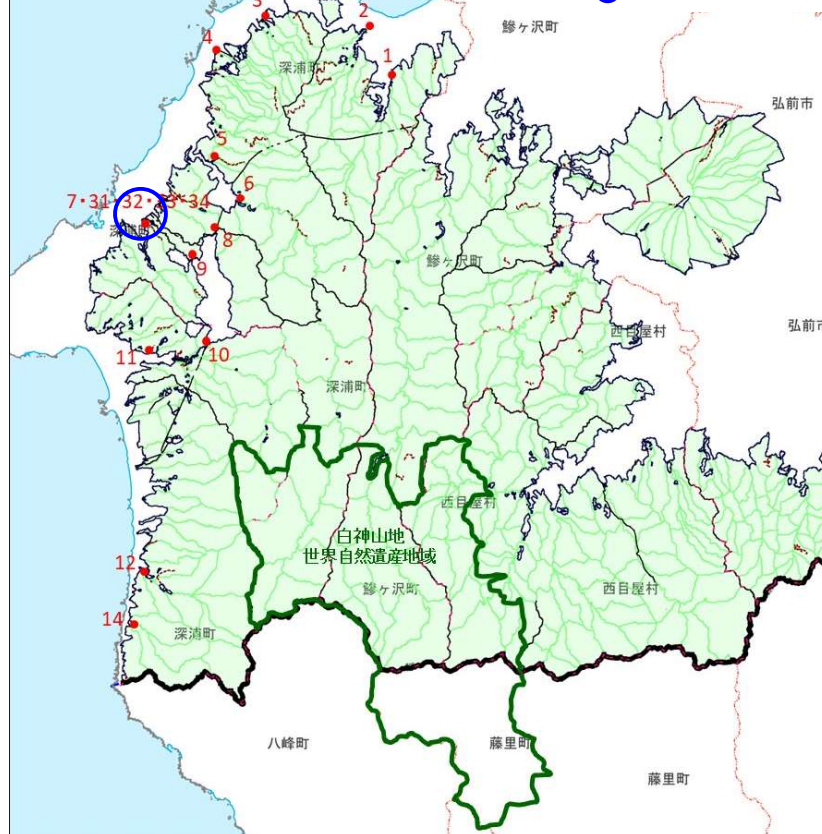


表1 センサーカメラによる各調査地点の確認種・個体数

種名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	14	19	31	32	33	34	計
ニホンジカ♂																1	1		2
ニホンジカ♀																1			1
イノシシ			1		1		1						1				1		5
ハクビシン												1							1
タヌキ	3	65	2		2	4	1	2	4			12	4	1	3	6		3	112
キツネ	11	23	1		3	12	6	8	7		1	3	6		5	5	1	1	93
ニホンザル	6	37		1	10	7	4			2		3			5	3		3	81
テン	9	16					2	2	12			8			4	1			54
カモシカ	3	5	1		5		3	2	4	6	2	2	1		2	3	6		45
ウサギ		3	3		2	1	2	4	2		2	1			7	4	1	2	34
クマ			1													2			3
アナグマ								1				1							2
ネコ		1																	1
ヤマドリ		9													2				11
カケス																		2	2
鳥													1						1
不明哺乳類	10	8	0	0	2	0	3	7	0	0	1	2	0	2	9	4	1	1	50
種数計	6	9	7	2	7	5	8	7	6	3	4	9	6	2	8	10	6	6	17
個体数計	42	167	9	1	25	24	22	26	29	8	6	33	13	3	37	30	11	12	498



ハクビシン（調査地12：3月23日）



イノシシ（調査地5：4月14日）